

産学官をあげて盛大に開かれる

本学主催 上越地域産学技術交流会

本学の地域産学交流センターは、かねてより地域企業との密接な連携を願い、種々の活動を行ってきた。その一環として9月13日(火)に、直江津駅前のホテル・ハイマートで、地元企業との技術交流会を開催した。本学主催の交流会はこれが初めてである。この交流会は、本学と上越商工会議所との交流10年目を記念し、にいがた産業創造機構などの協力を得て実施したものである。

催しの内容は、基調講演、シーズプレゼンテーション、ポスターセッションおよび技術相談会と多岐にわたり、また夕刻からは懇談交流会が開催された。豊富な催しに、上越市および商工会議所関係者ならびに地元企業の経営者や技術担当者ら100人を越える方々が来場し、地元企業をはじめ関係団体の関心の高さを示した。

午前10時からのポスターセッションでは、本学の16研究室のほかに、長岡技術科学大学、上越教育大学、(株)新潟ティエルオーに出展をいただいた。ロボット技術や福祉関連技術などの展示に、企業担当者は、開発のシーズを求め展示者との間に熱心な討議を展開した。また、同時刻に企業から相談を受ける技術相談会が開催されて、所有する製造技術の新たな展開を求める相談などが持ち込まれた。

午後からの基調講演会では、本学の布村学長が挨拶の後、「地方私立大学における産学交流の期待と実情」と題する講演を行った。その内容の骨子は、近いものが本誌1頁に述べられている。次いで、芝浦工業大学講師の吉久保誠一氏から「研究開発からビジネスへ“テーマ設定より研究開発、ビジネスのプロセス”」と題する講演をいただいた。この講演は、ウォシュレットの開発に関するもので、工学的な技術、人間の感覚からデザインおよびテレビコマーシャルの活用にも及ぶ内容で、商品開発が成功するためには、工学の視点からだけでは足りないことを痛感させられた。



ポスターセッションの様子



技術相談の様子



基調講演 布村学長



基調講演 吉久保講師